



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月3日

上場会社名 トヨタ紡織株式会社
コード番号 3116 URL <http://www.toyota-boshoku.com>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 豊田 周平

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岩森 俊一

TEL (0566)26-0313

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	952,082	6.9	22,050	5.3	31,799	2.1	4,755	△53.9
26年3月期第3四半期	890,944	11.2	20,935	0.1	31,130	21.1	10,305	△16.1

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 19,414百万円 (△24.8%) 26年3月期第3四半期 25,832百万円 (35.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	25.66	—
26年3月期第3四半期	55.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	684,667	261,049	31.7
26年3月期	659,008	249,082	31.4

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 216,762百万円 26年3月期 206,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200,000	△1.5	25,000	△13.3	32,000	△20.6	△1,000	—	△5.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	187,665,738 株	26年3月期	187,665,738 株
27年3月期3Q	2,340,037 株	26年3月期	2,354,630 株
27年3月期3Q	185,312,322 株	26年3月期3Q	185,306,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成27年2月3日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高は、北中南米地域他での生産台数の増加などにより、前年同四半期連結累計期間（以下、前年同期）に比べ611億円（6.9%）増加の9,520億円となりました。利益につきましては、製品価格変動の影響、製品立上げの影響などの減益要因はありましたが、合理化などの増益要因により、営業利益は、前年同期に比べ11億円（5.3%）増加の220億円、経常利益は、前年同期に比べ6億円（2.1%）増加の317億円となりました。四半期純利益は、減損損失を122億円計上したことなどにより、前年同期に比べ55億円（△53.9%）減少の47億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、生産台数は減少しましたが、車種構成の良化などにより、売上高は、前年同期に比べ153億円（3.2%）増加の4,962億円となりました。営業利益につきましては、車種構成良化の影響や合理化などにより、前年同期に比べ95億円（195.2%）増加の144億円となりました。

②北中南米

当地域におきましては、生産台数の増加などにより、売上高は、前年同期に比べ461億円（29.0%）増加の2,053億円となりました。営業損失につきましては、増産影響などはあったものの、製品立上げの影響や新製品の生産準備費用の増加などにより、前年同期に比べ28億円増加の50億円となりました。

③アジア・オセアニア

当地域におきましては、小型車へのシフトやタイでの生産台数の減少などにより、売上高は、前年同期に比べ65億円（△2.8%）減少の2,302億円となりました。営業利益につきましては、車種構成悪化の影響やタイでの減産影響などにより、前年同期に比べ49億円（△22.8%）減少の169億円となりました。

④欧州・アフリカ

当地域におきましては、生産台数の増加などにより、売上高は、前年同期に比べ124億円（20.2%）増加の742億円となりました。営業損失につきましては、増産影響や合理化などはあったものの、子会社決算期変更の影響や為替影響などにより、前年同期に比べ9億円増加の42億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、手元流動性の増加などにより、前連結会計年度末に比べ256億円増加の6,846億円となりました。

一方、負債は、前連結会計年度末に比べ136億円増加し、4,236億円となりました。主な要因は、短期借入金の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ119億円増加し、2,610億円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、通期の予想を、売上高1兆2,000億円、営業利益250億円、経常利益320億円、当期純損失10億円と見込んでおり、2014年4月25日の公表値から変更しております。詳細につきましては、本日開示の「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、為替レートにつきましては、第4四半期を1US\$=115円、1EURO=135円を前提としております。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,548	87,888
受取手形及び売掛金	166,739	163,614
有価証券	47,000	64,114
商品及び製品	10,451	10,714
仕掛品	13,928	12,830
原材料及び貯蔵品	25,252	29,987
その他	37,882	44,130
貸倒引当金	△525	△517
流動資産合計	390,278	412,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	84,949	83,978
機械装置及び運搬具(純額)	89,030	86,321
その他(純額)	55,283	60,264
有形固定資産合計	229,264	230,565
無形固定資産		
のれん	1,035	649
その他	1,203	1,640
無形固定資産合計	2,238	2,289
投資その他の資産		
投資有価証券	14,669	15,903
その他	22,727	23,316
貸倒引当金	△170	△169
投資その他の資産合計	37,227	39,050
固定資産合計	268,730	271,905
資産合計	659,008	684,667

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	163,433	162,016
短期借入金	28,607	42,812
1年内返済予定の長期借入金	7,291	25,409
未払法人税等	5,218	7,647
製品保証引当金	1,499	1,652
役員賞与引当金	259	280
その他	61,341	58,509
流動負債合計	267,651	298,327
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	80,633	63,050
退職給付に係る負債	35,420	36,463
役員退職慰労引当金	496	458
資産除去債務	300	303
その他	5,423	5,014
固定負債合計	142,275	125,290
負債合計	409,926	423,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,098	9,097
利益剰余金	198,363	199,577
自己株式	△4,659	△4,629
株主資本合計	211,202	212,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,464	1,895
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△3,645	4,440
退職給付に係る調整累計額	△2,269	△2,017
その他の包括利益累計額合計	△4,452	4,318
新株予約権	515	340
少数株主持分	41,816	43,946
純資産合計	249,082	261,049
負債純資産合計	659,008	684,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
売上高	890,944	952,082
売上原価	812,567	868,506
売上総利益	78,377	83,576
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	22,431	23,978
その他	35,010	37,546
販売費及び一般管理費合計	57,441	61,525
営業利益	20,935	22,050
営業外収益		
受取利息	1,131	1,115
持分法による投資利益	1,274	826
為替差益	5,142	5,710
その他	6,130	4,731
営業外収益合計	13,679	12,383
営業外費用		
支払利息	1,259	1,339
その他	2,225	1,294
営業外費用合計	3,484	2,634
経常利益	31,130	31,799
特別損失		
確定拠出年金制度への移行に伴う損失	507	—
減損損失	4,316	12,277
特別損失合計	4,824	12,277
税金等調整前四半期純利益	26,306	19,522
法人税、住民税及び事業税	9,958	11,651
法人税等調整額	196	△896
法人税等合計	10,155	10,754
少数株主損益調整前四半期純利益	16,151	8,767
少数株主利益	5,845	4,012
四半期純利益	10,305	4,755

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,151	8,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	417	395
繰延ヘッジ損益	△1	1
為替換算調整勘定	8,527	9,490
退職給付に係る調整額	—	246
持分法適用会社に対する持分相当額	736	512
その他の包括利益合計	9,680	10,646
四半期包括利益	25,832	19,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,755	13,526
少数株主に係る四半期包括利益	8,076	5,887

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	448,704	155,794	227,891	58,554	890,944	—	890,944
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,234	3,401	8,963	3,256	47,857	△47,857	—
計	480,938	159,196	236,855	61,811	938,801	△47,857	890,944
セグメント利益又は損失(△)	4,881	△2,250	21,928	△3,367	21,193	△257	20,935

(注) 1 セグメント利益の調整額△257百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

欧州・アフリカセグメントにおいて、固定資産の減損損失4,316百万円(うちのれん1,899百万円)を特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

上記に記載のとおりであります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	460,959	202,434	217,359	71,329	952,082	—	952,082
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,286	2,921	12,901	2,946	54,055	△54,055	—
計	496,245	205,355	230,260	74,276	1,006,138	△54,055	952,082
セグメント利益又は損失(△)	14,410	△5,068	16,929	△4,293	21,978	71	22,050

(注) 1 セグメント利益の調整額71百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

日本セグメントにおいて1,737百万円、北中南米セグメントにおいて2,672百万円、欧州・アフリカセグメントにおいて7,866百万円の固定資産の減損損失を特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。